

一般演題 プログラム

6月15日(土)

セッション1 (山岳診療)

11:20-12:20

発表8分, 質疑4分

座長 香川大学医学部附属病院手術部 臼杵尚志

- 1-1. 昭和大学白馬診療所における2012年度の活動報告
後藤田哲史(昭和大学白馬診療部)ほか
- 1-2. 下肢の痙攣を主訴として蝶ヶ岳ボランティア診療所を受診した登山者の特徴
藤堂庫治(明和病院アスレティックリハビリテーションセンター)ほか
- 1-3. 大規模遭難事故後3年時における登山者の非常用装備の検討
山木妙夏(香川大学医学部)
- 1-4. 救急搬送された高齢登山者の2症例
笹尾真美(鶴見大学歯学部麻酔科)ほか
- 1-5. 里山登山習慣を有する者におけるヒヤリ・ハットに関する調査
吉岡哲(香川大学医学部公衆衛生学)ほか

一般演題 プログラム

6月15日(土)

セッション2(高山病)

14:20-15:20

発表8分, 質疑4分

座長 花岡正幸(信州大学医学部内科学第一講座)

- 2-1. 急性高山病発症者における富士山頂短期滞在時の脳血流動態告
岡崎和伸(大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター) ほか
- 2-2. 燕岳から槍ヶ岳縦走中に発症し上高地で診断された高地肺水腫の一例
木野田 文也(信州大学医学部内科学第一講座) ほか
- 2-3. 症例報告: 蝶ヶ岳から長堀尾根を下山中に標高2350m付近で死亡した
16歳男性について
原田智紀(日本大学医学部徳沢診療所) ほか
- 2-4. 南アルプス縦走中の高所順応は夜間睡眠中経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)
および脈拍数(HR)の回復を指標にすると5日を要する
八嶋嘉之(日本大学医学部山岳部・徳沢診療所) ほか
- 2-5. 北アルプス登山活動の身体的負荷と回復過程に関する研究
-個人特性との関連に着目して-
林綾子(びわこ成蹊スポーツ大学) ほか

一般演題 プログラム

6月15日(土)

セッション3(高所生理、トレーニング)

15:25-16:40

発表8分, 質疑4分

座長 杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室 大野秀樹

3-1. 高地滞在が女性競技者の運動中の糖代謝に与える影響

前川剛輝(東京大学大学院新領域創成科学研究科・生涯スポーツ健康科学研究センター)ほか

3-2. 日本人の高所登山者・トレkkerの身体特性, 健康状況, 呼吸機能の特性

安藤真由子(株式会社ミウラ・ドルフィンズ, 鹿屋体育大学)ほか

3-3. 登山中の主観的強度と心拍数・血中乳酸レベルとの対応関係

宮崎喜美乃(鹿屋体育大学大学院修士課程)ほか

3-4. 急性高山病にかかりやすい登山者を対象とした事前順化トレーニングの効果

森寿仁(鹿屋体育大学大学院)ほか

3-5. 事前に短時間の下り坂歩行を行うことで長時間の下り坂歩行後の筋力低下と筋肉痛は軽減する

前大純朗(鹿屋体育大学)ほか

3-6. 安全な下山技術の確立へ向けてー4. 大腿四頭筋を保護する登山法の検討ー

粕谷志郎(岐阜大学大学院地域科学研究科地域政策)ほか

一般演題 プログラム

6月15日(土)

セッション4(登山における security など)

16:45-18:00

発表8分, 質疑4分

座長 東京医科大学渡航者医療センター 増山茂

- 4-1. 第三者山岳遭難事故調査法の開発と特徴について
青山千彰(日本山岳 SAR 研究機構)
- 4-2. 良きサマリア人の原則について その3 一登山等の場合に於いて一
吉田泰行(威風会栗山中央病院 耳鼻咽喉科・健康管理課)ほか
- 4-3. 東北・関東地方を中心とした登山道の放射線測定
野口邦和(日本大学歯学部)ほか
- 4-4. 中高年女性登山者の身体組成、体力テスト5年間の変化
石田良恵(女子美術大学)ほか
- 4-5. 高齢者の山岳心理と口腔内外骨症の有用性
藤枝和夫(明海大学病院保存修復学)ほか
- 4-6. 認定山岳医資格取得後の認定医の活動についての報告
上小牧憲寛(国際医療福祉大学病院循環器内科)ほか

一般演題 プログラム

6月16日(日)

セッション5 (ニューギニアおよびヒマラヤ高地)

9:00-9:50

発表8分, 質疑4分

座長 京都大学東南アジア研究所 和田泰三

- 5-1. 高所住民の気分の落ち込みとQOLとの関連
—ヒマラヤ・ニューギニア高地住民の実態—
福富江利子 (京都大学医学研究科 社会健康医学専攻 フィールド医学) ほか
- 5-2. パプア及びチベット高地におけるレジオネラ属菌の検出
坂本龍太 (京都大学白眉センター・京都大学東南アジア研究所)
- 5-3. 辺境地に暮らす人々の食の変化と糖尿病
—インドネシア・パプア州とヒマラヤ高地における調査事例より—
木村友美 (京都大学東南アジア研究所)
- 5-4. ニューギニアおよび北東インド高地住民の血圧と年齢の相関
石本恭子 (京都大学東南アジア研究所) ほか

一般演題 プログラム

6月16日(日)

セッション6(低温環境の影響など)

9:55-10:55

発表8分, 質疑4分

座長 川崎医療福祉大学健康体育学科 小野寺昇

- 6-1. 雪洞滞在時における女性のストレス指標の変化
小野寺昇(川崎医療福祉大学健康体育学科)ほか
- 6-2. 低温環境下の低山登山時における喘息体質を有する者の一秒量、
経皮的動脈血酸素飽和度、および主観的呼吸困難感の変化
高木祐介(帝塚山大学)ほか
- 6-3. 大山夏 山登山時における視機能の変化
小林泰子(川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科)ほか
- 6-4. 北岳の標高2880mにおける夜間SpO₂の低下
成島唯人(昭和大学医学部北岳診療部)ほか
- 6-5. 奥穂高岳前期高齢登山者のPOMSから見た気分の変化
大平幸子(岐阜大学医学部看護学科)ほか

一般演題 プログラム

6月16日(日)

セッション7(水分状態など)

11:00-12:00

発表8分, 質疑4分

座長 九州大学大学院人間環境学研究院 斉藤篤司

- 7-1. 登山前の体水分状態が登山時の体力に及ぼす影響
斉藤篤司(九州大学大学院人間環境学研究院) ほか
- 7-2. 夏期穂高岳登山における血清電解質の変化
加藤義弘(岐阜医療科学大学保健科学部看護学科) ほか
- 7-3. 軽登山における月経周期と飲水量及び発汗量の関連性
野瀬由佳(安田女子大学) ほか
- 7-4. 夏季登山における主観的口渇感と水分摂取量の関連性-上りと下りの比較-
西村一樹(広島工業大学) ほか
- 7-5. 登山前の視覚的情報介入の有無が六甲山登山時における
心理的尺度の変化に及ぼす影響
関和俊(流通科学大学) ほか